



Facebook 配信中！
今すぐアクセス!!



牧之原市議会だより

第66号

令和4年5月15日発行

2月定例会号

かけはし



令和4年度当初予算成立！	2
10議員が市長に問う！（一般質問）	10
「学校再編に関する要望書」を提出！	20

坂部保育園 春、うれしいな



第2次総合計画（後期基本計画）の総仕上げ 新規事業を積極的に計上

問 CO₂の削減に寄与する事業ということだが、その内容は

答 新規事業で、5年間茶園の収益化が目的で、茶樹から炭を作り、炭素の蓄積素材用の開発と研究を進め、成果次第で農業者に普及していくことになる。

低炭素社会実現のため
CO₂削減を目的とする
実証実験に支援を行います！

オーガニックまきのはら
推進事業業務委託料
500万円



オーガニックまきのはらイメージ図

問 委託を予定している業者はあるのか

答 海外において実証実験等の実績がある農業ベンチャー企業を予定していたが、他の業者との比較等についてご指摘もあったことから、公募による業者選定も含めて検討している。

問 昨年度に比べて減額となっているが、新型コロナウイルスに關係する事業を別事業としたのか

答 住居確保給付金について、令和3年度は新型コロナウイルスを考慮してある程度増額をしていたが、令和4年度は実績に応じた額としたことによるものである。

生活困窮者への支援を強化し
生活保護に至る前段階から
早期の支援を実施します！

生活困窮者自立支援事業費
2850万3000円



給付金

問 この事業を活用して自立された方の人数は

答 住宅をなくしてしまつた方に対して県営住宅を一時的に貸していた事業がある。おおむね3カ月をめどに自立に向けていくが、令和3年度は3人が自立に向かったと認識している。

令和4年度 各会計予算を可決

ウィズコロナに向けた予算も！

	一般会計予算	209億6730万円
	国民健康保険特別会計	50億6762万1000円
	後期高齢者医療特別会計	5億6246万6000円
	介護保険特別会計	44億7950万6000円
	土地取得特別会計	5211万7000円
	農業集落排水事業特別会計	1152万7000円

水道事業会計		収入	支出
	収益的 資本的	10億3332万5000円 1億2619万円	10億667万円 4億1657万8000円

～各事業に対する主な審査内容～

（審査内容の全文は会議録をご覧ください。）

国内外との交流により、交流人口の
拡大や市の賑わいを創造します！

シティプロモーション推進費 132万2000円



問 予算が減額となつていますが、これまで関係を強めてきた中国との今後の対応は

答 オンライン等を活用して地道に交流していき、状況が許すときにはリアルな交流につなげていく。また静岡空港からのインバウンドの取り込みも進めていきたい。

情報格差対策として、市民への
スマホ講習会を開催します！

情報化推進業務委託料 381万8000円



問 市民を対象にしたスマホの講習会を実施することだが、日程、回数などは決まっているのか

答 スマホを持っていない方向けの体験教室を年に4回、スマホを持っている方向けのスマホ講座を年約60回予定している。

適切な課税を行い
さまざまな行政サービスを
提供していきます！

市民税 24億2260万円

問 前年度に比べ増額と見込んだ理由は、新型コロナウイルスによる影響の見込みが立たなかったため、リーマンショックのときを参考にかなり厳しい予算としていた。国の見解が示され、給与の減額分が把握できたことから増額となっている。

答 前年度予算は、新型コロナウイルスによる影響の見込みが立たなかったため、リーマンショックのときを参考にかなり厳しい予算としていた。国の見解が示され、給与の減額分が把握できたことから増額となっている。



経営力強化のための
具体的施策は
お茶とお茶に代わる
ものに取り組む茶複
合経営推進事業および耕作
性を上げるために茶園を改
良するなど茶業の安定化に
つなげるための茶園集積推
進事業の一つの事業とな
る。

茶業緊急支援事業費 1274万5000円

土地区画整理組合設立の
支援を行っていきます！

新拠点開発推進事業費
2億140万7000円

問 市全体への波及効果と今後の周知は

答 富士山型ネットワークの頂点で重要な施策であり、市も全面的に支援していく体制をとっている。現在は地区協議会の中で周知をしているが、進捗に合わせ全体への周知も展開していきたい。

討論

令和4年度牧之原市
一般会計予算

反対 (大石議員)
学校再編計画案は十分な市民合意がなされたとは言えず、議会においても議論は尽くされていない。そもそも、市教育委員会において再編計画の意思決定がされない前に、議会が先行して関連予算を採決すること自体、妥当ではない。

賛成 (原口議員)
高台開発や沿岸部活性化、教育環境の整備のための学校再編事業等の第2次総合計画後期基本計画の総仕上げとなる。引き続きワクチン接種を促進し感染拡大を防止するとともに、ポストコロナに向け地域経済対策等の各種施策を実施し、持続的な成長に取り組み、市民生活や市内経済に影響が生じないよう速やかに予算を執行する必要がある。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。(採決状況はP 9 参照)

2月
定例会

当初予算審議を
ピックアップ！

議案への主な質疑

令和4年度牧之原市一般会計予算

令和4年度一般会計予算を208億4000万円とするもの。

有料・無料の違いは何か

問 「住民票の写し等交付申請書」の年金現況届の記載事項証明書欄にある「有料」「無料」の違いは

答 私的な個人年金の現況届等に使用するものは有料、法的な根拠により手数料が免除されるものは無料となるが、分かりやすい書式となるよう改めていきたい。

議員からの意見

・オーガニックまきのほうらについて、委託を予定している企業についての詳細が不明確であった結果として、公募することも検討するという答弁があったのでよかった。また、これは委員からの的確な指摘によるものであり、今後も当局に対してしっかりと意見を言っていくことが大事である。

・当初予算には学校再編計画に関する経費が計上されているが、教育委員会において学校再編計画が決定される前に議会で関係する予算を審議するべきではない。会期の延長も可能であることから検討すべきではないか。

・委員長の立場としては、24日の採決に向けて粛々と進めていくしかないと考える。予定どおり委員会の採決を行い、24日の本会議にて委員長報告を行い、議会としての審議、採決に臨むこととしたい。

その他の議案への質疑

牧之原市犯罪被害者等支援条例の制定について

犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援、被害の軽減および回復を図ること、犯罪被害者等が安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現することを目的に条例を制定するもの。

丁寧な説明が必要では

問 新規条例は事前の十分な説明と市民が理解できるように解説を付けるべきではないか

答 支援体制を早急につくるということで条例提案をした。どんな支援内容を整えていくかは、市民、議会からも意見をいただき進めていきたい。

被害者

犯罪被害者等を温かく支える地域社会が求められる

育児休業の取得状況は

問 現在の育児休業の取得状況は

答 女性職員についてはほぼ全員が取得しているが、男性職員については出産時に休暇を取得することはあるが、長期の育児休業を取得している現状はない。

議員からの意見

・男性の育児休業は、会社や上司など周りがいかに理解しているかが重要。「日本一女性にやさしいまち」を目指す以上は、最も進んだ解釈で進めていきたい。

牧之原市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の一部を改正する条例

消費生活センターに配置する消費生活相談員の資格要件を追加するもの。

新たに加えた要件とは

問 消費生活相談員は、専門的知識および技術を有する必要があると思うが、新たに加えた「市長が認める者」とはどのような方を想定しているのか

答 消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタントのいずれかの資格を有する者を想定している。

年間の相談件数は

問 消費生活センターにおける年間の相談件数は

答 平成30年度が451件、令和元年度が401件、令和2年度が403件で、令和3年度は2月までの実績で382件となっている。

牧之原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

消防団員の処遇改善として国から示された基準に基づき、年額報酬および出勤報酬等について改めるもの。

団員募集に関する方策は

問 報酬等を改定して募集しやすくすることも必要だと思うが、それ以外の方法も検討しているのか

答 全国的な流れとして、活動時間の短縮など負担を軽減する取り組みを進めているが、災害対応となると消防団員の協力が欠かせないのが現状である。



令和4年度は45人が入団し、437人となった牧之原市消防団

市政に対する

総合的な質疑

特色ある施策の必要性について

問 子育て中の若い母親も働く意欲を強く持っているため、安心して働ける環境が必要である。「日本一女性にやさしいまち」として、牧之原市が誇れる特色ある施策を考える必要があると思うが

答 高台開発や企業誘致を含め、雇用の場を創出していくことから始める。目玉となるような施策を職員から、そして議会からも提案いただきたい。

サテライトオフィス機能の拡充について

問 デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して、カタショー・ワンラボにサテライトオフィスの機能を拡充することを検討しているとのことだが、これは市が事業として行うのか

答 国の補正予算による事業で、(株)マキノハラボから「独自事業としてやっていきたい」と提案があったもの。現在申請中であるため、概略のみ説明させていただいた。



さまざまな事業に取り組んでいるカタショー・ワンラボ

令和4年度の税収を増額と見込んだ根拠は

問 令和4年度一般会計予算については、前年度比15億6000万円の増と積極的予算となっている。歳入において、コロナ禍においても市税全体で約5億円の増収を見込んでいるが、その根拠は

答 市内企業等に調査を行った結果、コロナ以前までとはいかないが経済がある程度回復することが予想されることから、増額を見込んでいる。

討論

令和3年度牧之原市一般会計補正予算(第12号)

(大石議員)

反対

当初予算編成時における各事業費計上において、精査に欠けるのではないかと。また転出・転入手続きワンストップ化システム改修業務委託費440万円は、マイナンバーカード普及のための手段であり、適用範囲の拡大に反対する。

(原口議員)

賛成

国の補正予算措置に伴い、前倒しで行う経費の計上のほか「障害者自立支援給付費の増額」「基金への積み立て」といった、市民生活の向上、市民の安全・安心を確保するものとなっている。新型コロナウイルス感染者数は減少傾向にあるが、本補正予算を速やかに執行し、市民生活に影響が生じないようにする必要がある。

採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。(採決状況はP9参照)

2月定例会 補正予算の審査

○今回の補正予算の主な内容

- ・静波サーフスタジアムへの市広告看板設置に係る経費
- ・子育て応援特別定額給付金に係る経費
- ・防災重点ため池の耐震診断に係る経費
- ・市道勝間田静波線の歩行空間設置工事に係る経費



こどもの発達障害

やまこリスト

一般会計補正予算(第12号)

支給漏れとなっていないか

児童手当給付費

問 3479万円減額
人数的に把握しやすいと考
えるが、減額となった理由

答 前年度の実績や転出・転入等における増減を参考に慎重に計算しているが、当年度になつてからの出生数の減少、転出の増加等による影響が大きく、減額となった。

年度ごとの利用者の変動は

扶助費(障害者自立支援事業費)

問 4168万8000円増額
年度ごとサービス利用者の
波があるのか

答 令和3年度および令和2年度は増額、令和元年度は減額となっている。令和3年度は、共同生活扶助費、児童発達支援費、放課後デイサービスに関する利用者が増えたことから増額となった。

受講者の状況は

若者に魅力あるサービス等創出支援業務委託料

375万9000円減額

問 女性が月3万円稼ぐための事業における受講者の状況や講師への謝礼は

答 31名の申し込みがあり、当日は20代から30代の子育て中の女性を中心に25名の参加があった。講演会や打合せ等に対し、2名の講師に計30万円を支出している。



感染対策を徹底した上でリモートで開催されたビジネス講演会

件名		結果	概要
制 定 条 例	牧之原市犯罪被害者等支援条例の制定について	可決	犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援、被害の軽減および回復を図ること、犯罪被害者等が安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現することを目的に条例を制定するもの。
条 例 改 正	牧之原市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	消防団員の処遇改善として国から示された基準に基づき、年額報酬および出勤報酬等について改めるもの。
	牧之原市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	可決	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律が改正されることに伴い、同法からの引用部分を改めるもの。
	牧之原市原子力防災センター条例の一部を改正する条例	可決	施設の新設に伴い、「相良原子力防災センター」の名称および位置を追加するもの。
	牧之原市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の一部を改正する条例	可決	消費生活センターに配置する消費生活相談員の資格要件を追加するもの。
	牧之原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	国民健康保険法施行令の改正により、未就学児の均等割額を減額する措置が導入されたことに伴い、同政令からの引用部分を改めるもの。
	牧之原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	保育所などの特定教育・保育施設等が行う事業に係る諸記録の作成、保存等を、電磁的方式により行うことができるよう改めるもの。
	牧之原市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	家庭的保育事業者等が行う事業に係る諸記録の作成、保存等を、電磁的方式により行うことができるよう改めるもの。
	牧之原市土地改良事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	可決	農地中間管理機構が農地中間管理権を設定した農用地を対象とした都道府県が行う土地改良事業の施工区域内の農用地について、目的外用途への転用や農地中間管理権を解除した場合に特別徴収金を徴収することができるよう改めるもの。
	牧之原市小集落改良住宅管理条例の一部を改正する条例	可決	波津西住宅（1～4号棟、7～8号棟、9～11号棟）の解体に伴い、当該住宅に係る規定を削除するもの。
変 規 更 約	駿遠学園管理組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	可決	静岡県障害児（者）地域療育支援センター事業の受託が終了したことに伴い、当該事業を規約から削除するもの。
当 初 予 算	令和4年度牧之原市国民健康保険特別会計予算	可決	令和4年度国民健康保険特別会計予算を50億6,762万1,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市後期高齢者医療特別会計予算	可決	令和4年度後期高齢者医療特別会計予算を5億6,246万6,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市介護保険特別会計予算	可決	令和4年度介護保険特別会計予算を44億7,950万6,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市土地取得特別会計予算	可決	令和4年度土地取得特別会計予算を5,211万7,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市農業集落排水事業特別会計予算	可決	令和4年度農業集落排水事業特別会計予算を1,152万7,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市水道事業会計予算	可決	収益的収入を10億3,332万5,000円、支出を10億667万円。資本的収入を1億2,619万円、支出を4億1,657万8,000円とするもの。
そ の 他	市道路線の廃止について	可決	市内7路線を廃止するもの。
	市道路線の認定について	可決	市内14路線を認定するもの。
報 告	専決処分の報告について	報告	令和4年1月に起きた静岡市御幸町御幸通り南交差点において発生した事故に対して、損害賠償の額を定め和解したもの。
予 補 算 正	令和3年度牧之原市一般会計補正予算（第13号）	可決	1億2,730万円を減額し、予算額を218億9,880万4,000円とするもの。
	令和4年度牧之原市一般会計補正予算（第1号）	可決	1億2,730万円を増額し、予算額を209億6,730万円とするもの。
案 人 件 事	副市長の選任について	同意	副市長に「大石勝彦」氏を選任するもの。
議 員 発 議	ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議	可決	ロシア連邦が直ちに戦闘を停止しウクライナから軍を撤退することを強く求めるとともに、平和の実現に向けて、全世界が一体となって平和的な解決が図られるよう、強く訴えるもの。
	牧之原市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和3年人事院の給与勧告に準じ、議員の期末手当の支給月数を0.15月分引き下げるとともに、令和4年6月に支給する期末手当に関する特例を定めるもの。

・2月定例会(賛否が分かれたもの)

○：賛成 ●：反対		結果	石山	谷口	絹村	名波	加藤	木村	松下	種茂	濱崎	原口	大井	太田	中野	大石	村田	植田	概要	
補正予算	令和3年度牧之原市一般会計補正予算（第12号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	—	7億7,532万5,000円を増額し、予算額を220億2,610万4,000円とするもの。	
当初予算	令和4年度牧之原市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	●	○	—	令和4年度一般会計予算を208億4,000万円とするもの。	

※大井議員は3月4日、9日、10日および24日の本会議を欠席しており、全ての議案の表決に加わっていません。
なお、欠席にあたっては欠席届が提出され、受理されています。

「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を
全会一致で可決しました

牧之原市議会では、「ロシア連邦が直ちに戦闘を停止しウクライナから軍を撤退することを強く求めるとともに、平和の実現に向けて、全世界が一体となって平和的な解決が図られるよう、強く訴える」ことを表明するため、3月4日の本会議において、「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」を全会一致で可決しました。

決議…議会が行う意思形成行為で、政治的効果をねらい、あるいは議会の意思を対外的に表明することが必要である等の理由でなされる議決のこと。



全議員がウクライナ国旗の色（青・黄）のポケットチーフをつけて臨みました

「ロシア連邦のウクライナへの軍事侵攻を非難する決議」

国際社会の懸命の外交努力にもかかわらず、去る2月24日、ロシア連邦は、ウクライナへの軍事侵攻を行った。

いかなる理由があろうとも、ウクライナの主権や領土を侵害する力による一方的な現状変更の試みは明白な国際法違反であり、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かす行為である。牧之原市は、核兵器のない世界を目指す平和都市宣言を行っており、この行為は断じて容認できない。

牧之原市議会は、多くの罪のない市民が犠牲になっている現状を鑑み、ロシア連邦が直ちに戦闘を停止しウクライナから軍を撤退することを強く求めるとともに、平和の実現に向けて、全世界が一体となって平和的な解決が図られるよう、強く訴える。

～ 議 決 結 果 と 概 要 ～

・2月定例会(全会一致のもの)

件名		結果	概要
案 人 件 事	人権擁護委員の候補者の推薦について	選任	人権擁護委員に「尾崎寿光」氏を選任するもの。
変 規 更 約	静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について	可決	構成団体である「養護老人ホームとよおか管理組合」が令和4年3月31日をもって解散することに伴い、当該組合を規約から削除するもの。
契 約	相良地区放射線防護施設等造成工事請負契約の一部変更について	可決	契約金額を69万3,000円減額し、3億1,830万7,000円とし、代表取締役の変更に伴い構成員（代表者）の氏名を変更するもの。
	相良地区放射線防護施設建設工事請負契約の一部変更について	可決	契約金額を275万円増額し、5億7,475万円とするもの。
補 正 予 算	令和3年度牧之原市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	4億2,382万9,000円を増額し、予算額を54億2,809万4,000円とするもの。
	令和3年度牧之原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	957万4,000円を増額し、予算額を5億2,735万4,000円とするもの。
	令和3年度牧之原市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	5,746万1,000円を減額し、予算額を44億3,132万5,000円とするもの。
条 例 改 正	牧之原市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律等が改正されたことにより、非常勤職員における育児休業・介護休暇等の取得要件の緩和等を行うもの。
	牧之原市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和3年人事院の給与勧告に準じ、特別職および職員の期末手当の支給月数を0.15月分引き下げるとともに、令和4年6月に支給する期末手当に関する特例を定めるもの。
	牧之原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	

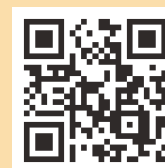
市政を問う!! 一般質問

牧之原市を賑わいのあるまちにするためには人口増加しかないと考える。移住者が移住を考えられる魅力あるまちの構築と、定住者が住み続けたいと思う安心・安全で防災に強く、そして活気ある市街地、楽しく寄り添える居場所があり、便利なまちづくりが必要不可欠である。若い世代の定住や女性人口が少なく、出生率も少ないことから、未来あるまちづくりで人口減少を食い止めていくことが必要である。



たねも かずお
種茂 和男

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



牧之原市の人口増加対策は

問 富士山型ネットワーク構造の推進による人口増加施策は

答 従来の二つの既存市街地と高台地区に拠点を設ける富士山型ネットワーク構造へ転換を図り、賑わいの創出や、市外から人を呼び込むまちづくりを目指している。三つの拠点を結ぶ交通網として、国道150号を補完する国道150号バイパスの早期整備が望まれる。

問 防災のための都市下水路整備は

答 既存市街地における都市下水路などの整備は、防災上の効果の大きい浸水常襲地区から実施することが必要である。自治会3区長から提出された要望についても、この考え方を基本とし、令和4年3月末をめどに現地状況の把握等をしていきたい。

問 市内の名店、老舗店舗の後継者対策は

答 これまで築かれてきた顧客等を受け継ぐことは大変重要なことであり、長期的な経営計画を立てて、じっくり準備していく期間が必要だと考える。商工会においても令和4年度に勉強会を立ち上げる予定と聞いている。



都市下水路下波津周辺

問 「日本一女性にやさしいまち」への具体的な施策は

答 出産や子育てに関する施策の充実や保育・教育環境の魅力の向上などを考えている。また、トキワホールディングス(株)および静岡県立大学と連携し、企業の社員や学生などを集めた意見交換会を開催したい。

問 市営住宅跡地の活用方法は

答 令和3年度に解体した波津西改良住宅の一部は、隣接事業者から駐車場利用等の申出がある。大原団地については、退去後の解体を予定しており、地元からも公民館や防災避難地、多目的広場として利用していきたい等の意見を聞きながら進めていきたい。



大原団地撤去跡

社会教育は、学びを通じて個人の成長を期待させるとともに、他者と学び合い、認め合うことで相互のつながりを形成していくものである。生涯学習活動の推進にあたっては、社会教育施設である公民館が果たしている役割が非常に大きいと考える。とりわけ相良地区では三つの公立公民館があり、公民館活動が盛んに行われてきた。令和3年に相良公民館が取り壊され、令和4年度から地頭方公民館の機能も地頭方原子力防災センター(ジীব)へ移されることになり、残すは萩間公民館のみとなる。相良公民館で行っていた活動は他の公民館で、地頭方公民館で行っていた活動はジীবで行うように進めているが、その全部の活動が移れない状況だとも伺っている。今後も社会教育活動を推進していくために、以下について伺う。

問 今後の相良地区の公民館活動や地区生涯学習活動については、地頭方公民館と同様に、機能移転を行うなどして活動を継続していくのか

答 相良公民館で実施していた事業は、相良総合センターや史料館、B&G海洋センターなどで継続している。地頭方公民館については、田沼塾や各種利用団体と調整し、市内の公共施設を利用して活動を継続していく。地頭方地区協議会と共同で開催している地頭方地区講演会は、今後も同様に実施していく。

問 令和4年度からの公民館事業は、誰がどのように進めるのか

答 萩間公民館に関しては引き続きとなる。地頭方地区で実施していたふるさと教室、生涯学習セミナー、地頭方地区講演会に関しては、社会教育課が中心となって活動を推進していく予定である。

問 地区支援員の役割は

答 令和3年度から、職員を常駐させてジীবの管理業務を行っているほか、身近な市役所としての窓口の相談業務、地域特有の課題を解決するための調整もしている。市役所退職者ということもあり、豊富な行政経験を生かす中で、特に地頭方の地区や団体との調整が必要になってくる海浜公園周辺の活性化について、地域とともに計画推進に取り組んでいる。

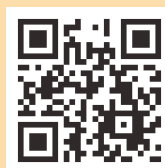


トーク地頭方内に展示されている資料

公民館事業と社会教育の推進

はらぐち やすゆき
原口 康之

質問の様子はこちら
-動画配信中!-



一般質問

文部科学省地震調査研究推進本部から、「東海地震が今後30年以内に発生する確率は87%」という数字が発表されてから数年が経つ。最近では、東海地方を含めた各地で頻繁に地震速報が発表され、市民の防災意識も高いように感じられる。もちろん、行政も日々意識を高く持って業務に取り組んでいることと思う。そこで、より安心・安全な防災対策に向けて、避難地へとつながる周辺環境の整備の必要性や、市民のさらなる防災意識向上を図る「気象防災アドバイザー」の配置について、以下のとおり質問した。

問 気象防災アドバイザーの配置についての考え

答 は 全国で87名、県内では1名の方が気象防災アドバイザーとして委嘱を受けている。当市では、これまで災害派遣の経験や気象情報に精通した退職自衛官を採用しており、令和4年度も新たな方を採用することから、現在のところ気象防災アドバイザーの活用については考えていない。

避難道、連絡道の整備および強化

問 老朽化した排水路の改修工事の進捗は

答 都市下水路や排水路の維持管理は、毎年建設部職員により点検を実施しており、点検や市民からの通報によって異常箇所が発見された場合は、その都度修繕をしている。令和4年2月に提出された自治会3区長からの要望書にある樋尻川排水路の老朽化については、防災上の効果が大きい浸水常襲地域から実施していく必要があると考えることから、関係者と現地状況を把握し、令和4年3月末をめどに適切な対応に努めていく。



樋尻川側溝

問 多目的体育館へのアクセスを向上させるための新たな国道150号バイパスインターチェンジ（IC）の必要性は

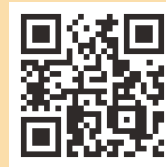
答 現在建設中の多目的体育館は、国道150号バイパスの大沢ICと約800mと非常に近い位置にある。道路構造令では、IC間は1.5kmから4kmが望ましいとあることから、設置は難しいと推測されるが、道路管理者である静岡県と協議をしていきたい。一般道からのアクセスとして、令和4年度から市道須々木大溝線を国号150号まで延伸する事業に着手する。



多目的体育館周辺道路

まつした さだひろ
松下 定弘

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



きぬむら ともあき
絹村 智昭

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



地域福祉と多目的体育館について

市においては、令和3年度に高齢者、障がい者、生活困窮者などに関する相談および対応のために社会福祉課内に「福祉相談支援係」を設置し、福祉相談窓口の一本化と関係機関との連携強化を図ってきたとのことである。それを踏まえ、令和4年度の地域福祉についておよび新しくできる多目的体育館について伺う。

問 令和3年度の施策の成果は

答 相談窓口を一本化したことにより、相談業務を一つの場所で行うことができ、専門職による専門的な立場での相談対応が可能となった。また、「障害者基幹相談支援センター」を2市2町で共同設置し、相談支援体制の充実に取り組んでいる。



一本化された相談窓口
(さざんか1F)

問 令和4年度の方針と施策は

答 生活困窮者などへは、住居確保給付金、家計改善支援、相談支援事業を利用して支援していく。生活困窮により住居を失う恐れがある方には、一時生活支援事業を実施し、コロナ禍で経済的にひっ迫する方には住民税非課税世帯などへの臨時特別給付金支援事業を実施していく。成年後見制度の周知と利用促進にも取り組み、令和4年度が第4次牧之原市地域福祉計画、障がい者計画などの策定期間にあたることから、アンケート調査を実施していく。

問 多目的体育館建設の進捗状況と今後の予定は

答 現在基本設計を策定しており、今後実施設計を策定していく。また、指定管理者選定委員会にて管理運営事業者の選定を速やかに行っていく。令和5年度末の完成をめどに順調に進んでいる。

問 新たにできる多目的体育館は、ユニバーサルデザインとしての設計なのか

答 事業者からは、視覚障がい者や高齢者に配慮した同一フロア内での段差解消や、階段に見分けが付きやすい色合いのノンスリップ使用などが提案されている。現在進めている基本設計においても、障がい者やLGBTに配慮した誰でも利用できる多目的更衣室、車いすの方も利用可能な多目的トイレやエレベーターなどの設置を計画しており、ユニバーサルデザインを取り入れた体育館となるよう取り組んでいる。



多目的体育館イメージ図

一般質問

全国的に免許を保有する高齢者が増え続けており、同時に高齢者ドライバーによる悲惨な事故も増加し、大きな社会問題となっている。そこで、高齢者の交通安全対策と健康推進について伺う。

問 道路の消えかかっている白線が多く見受けられるが、市民からの要望があつてからどれくらいの間で引き直しをしているのか

答 小規模なものについては、年度内に設置を完了している。大規模な設置や舗装修繕に合わせた設置については、計画的に予算計上し実施している。

問 道路パトロールの結果、白線などの引き直しが必要だと判断した場合の優先順位は

答 交差点部や、交通量が多い路線、通学路、市街地事故多発箇所などの順でやっている。

問 白線などは何年ぐらいをめどに、整備しているのか

答 白線、区画線は交通量やその上を通る頻度によって消えるので、何年という基準はない。状況をパトロールの中で把握して、道路管理者や警察などとも相談しながらやっている。



消えかかっている白線は事故や違反を誘発させる

問 健康寿命の延伸にもつながる、高齢者の電動自転車の活用を推進していくつもりは

答 日頃から自転車愛用している人にとっては、健康増進に役立つものと認識している。しかし、身体機能の低下を伴った人の場合、けがや交通事故を生じさせるリスクがあるため、活用の推進は考えていない。

子どもの運動不足問題

コロナ感染拡大に伴い、小中学生が思うような運動やスポーツができないことで、体力面や健康面でさまざまな問題が出てきている。そこで、子どもの運動・スポーツと、体育施設の使用について伺う。



感染症拡大時の明確な施設利用基準が必要

問 リスクはあるが、遊ぶ機会と体育の授業を増やしてもらいたい

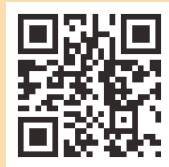
答 さまざまな工夫をしながら、体を動かす時間を確保するように努めている。

問 新たな変異株拡大に伴い、再び体育施設が使えなくなることに備え、今のうちに市民から見ても分かりやすい施設利用の判断基準を明確に示しておくべきではないか

答 誰にでも分かるような示し方というのは、検討する余地はあると思う。

はまざき かずき
濱崎 一輝

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



消えかけた道路白線

文化芸術は人々の心を豊かにするだけではなく、まちの質を高め、多くの人を引きつけ、活力を生み出すためにも、極めて重要な役割を果たすものである。誰もが心豊かで幸せを実感できる活力にあふれた社会を実現していくためには、文化芸術を本市のまちづくりと結びつけつつ地域の持続性を高めていくことが、いま求められているのではないだろうか。そこで、以下について質問した。

問 人々の幸せを中心とした社会への転換を政策推進の視点として取り入れることについては

答 市民一人一人がさまざまな活動や仕事、趣味などに主体的に取り組むことが必要である。心の豊かさの実現につながる魅力ある地域やライフスタイルを創出する考えを、政策推進の視点として、引き続き進めていく。現在、各地域で行っている絆づくり事業は、その一つの例ではないかと思っている。



勝間田城址を学ぶ小児童

問 幸福度調査の自治体行政への活用については

答 市民意識調査では各施策分野において、重要度、満足度の二つの視点から、定性的な調査を行っている。市民の主観的な感覚を基に、心の豊かさを図っているものと捉えている。

問 グループインタビューのようなものを行っていく考えは

答 基本的にはその対象者を絞って意見聴取というのには必要だと考えている。

問 文化芸術とまちづくりについてどのように認識しているのか



ぶらり田沼の旅の様子

答 芸術や地域の文化、伝統、風習などの文化芸術は、まちづくりや地域コミュニティと深く密接した関係にあると認識している。文化とか芸術、こういったものにも誰もが触れられるような情報発信みたいなものをつくり、興味を持ってもらったり、関心を生むような環境をつくっていく、醸成していくということが大切なかなと思っています。

問 文化芸術振興のための指針策定について

答 第3次総合計画の基本計画や実施計画の中で、本市が持っている資源を活用などしていくための、方向性や具体的な取り組みを明記し進めていく。

かとう あきら
加藤 彰

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



心豊かで幸せに暮らせる社会実現

一般質問

前回の一般質問にて、観光の重要性を話した。市民の方々と意見交換を行い、行政による対応が必要なものを質問する。

観光の現状と課題

問 景観が良くないのではないかと、現在、まちの顔である観光案内の看板が壊れている状態だと認識しているが、改善は可能か

答 旧町時代から建物にあるもので、大分老朽化している。市の観光のイメージダウンにつながるということもあるので、今後の対応を考えていきたい。

問 牧之原市内の体験コンテンツをまとめた動画を作成しているが、これらの動画を今後どのようにマーケティングに生かすつもりであるか

答 今後は、全国の旅行会社へ向けた情報発信や、するが企画観光局、静岡県観光協会と連携し、多くの方の目に留まるよう努めていく。



現在の観光案内看板

多文化共生の推進

国の施策「少子高齢化対策として、今後日本在中の外国人は増加することが予測される。牧之原市の強みを生かすことで、外国人人口の増加を実現し、多文化共生を実現することで財政安定も図れると考える。

問 外国人増加に関して、人口増加戦略としての重要なオプシオンとして考えられるか

答 多文化共生の推進として、その重要性についても十分認識している。外国籍住民は、企業の生産活動、市内経済の維持には不可欠な存在であり、彼らが暮らしやすい環境、受け入れる側の日本人の意識醸成に努めていく。今後、市役所での外国人の採用についても、準備を進めていきたいと思っている。

問 子どもへの教育も外国籍の方々にとって重要な要素となるが、外国人児童への教育機会の提供に対して、どのような考えを持っているか

答 日本語が話せない、理解が不十分な児童・生徒が編入することで、本人や受け入れる学校にとっても苦慮している状況がある。どのような支援が効果的かつ実行可能か考えていく。今後検討していく学校施設整備基本構想においても、多文化共生の視点を取り入れていく。



多文化共生イメージ図

いしやま かずみ
石山 和生

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



おおし かずお
大石 和央

質問の様子はこちら
-動画配信中！-



学校再編計画の対話継続を求める

施政方針では、令和3年度末に学校再編計画を策定し、令和4年度からは施設の位置や機能、通学方法、教育の具体的な中身に係る検討を進めていくとしている。なぜ施設一体型小中一貫校でなければならないのか、あらためて質問する。

問 なぜ、施設一体型小中一貫校なのか

答 中央審議会がもつとも効果的な形態として「校長が一人で施設一体型が望ましい。教員の連携も容易。」と整理している。

問 教育学と心理学の専門家13名の共同研究チームのまとめ報告によると、施設一体型マンモス校ではその優位性は認められなかったとしているが

答 現在、義務教育学校（施設一体型）も増えている。小中一貫教育についても課題を解決しながら、新たな取り組みの中でだんだんと効果も高まっているというようなことである。

問 大学の研究者の中でも評価や意見が割れている。文科省を中心とした片方の意見だけでなく、市民には両方の意見を説明すべきではないか

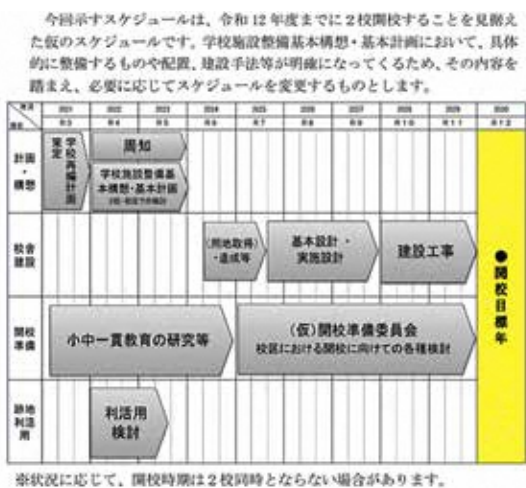
問 再編計画について、知っていることと理解・納得したことは違う。市民団体が意見書や公開質問状が提出され、継続して市民と議論を重ねるよう要望しているが

答 今、検討しているものについては、2030年をめどに行っている。この中で、さらに課題が浮き彫りになったり、あるいはそれ以上の効果が出るというような結果も、全国で出てくるかとは思っている。今後検討していく中で、課題についてはそこを改善する。

問 今後、不都合な点が出てきたら方向転換するのか

答 基本路線としては、今の再編計画の中で進めていくということである。

答 十分な市民参加の機会を設けて、そういう方たちも含めて参加する機会を設けた。コロナ禍であってもやれる最大限の努力はしてきたところである。



一般質問

新型コロナウイルスの感染拡大により、2月からは学校内での感染も広がり、休校および学級閉鎖により子どもたちの面倒を見るために仕事を休まなくてはならない子育て世帯が急増している。子育て世代家庭の安心した暮らしを取り戻すためにも、新型コロナウイルス関連で以下のことを伺う。

教育現場での新型コロナ感染対策

問 新型コロナウイルス感染症患者の市内の全療養者の状況は

答 県全体としての情報となるが、3月7日現在の全入院患者数は364人で、病床使用率は45.4%。また県内9施設ある療養施設の療養者数は235人で、療養施設使用率は22.2%となっている。直近1週間の市内新規感染者数は68人で、3月に入り減少傾向にあるが、子どもその親世代をはじめとする家庭内感染が続いている。食料配布支援については、3月7日までに294人分を支援し、パルスオキシメーターについては37世帯に貸し出しを行っている。

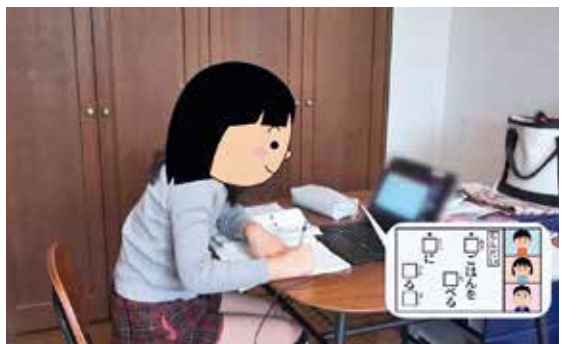
問 子育て世代家庭の保護者の支援を含めた生活支援方法は

答 1月下旬に園児保護者などの体温測定や、家族の健康観察の実施、子どもに発熱症状があった場合の登園自粛のお願いをしており、園児や職員に陽性者が判明した場合でも、園全体、あるいは長期間の休園措置をできるだけ回避するような対応をとっている。また、小学校等対応助成金・支援金、子育て世帯生活支援特別給付金、臨時特別給付金の給付も行っており、ひとり親世帯およびその他の世帯への生活支援特別給付金は768人の児童分を、臨時特別給付金については6087人の児童分を支給している。



問 学校教育と新型コロナについての今後の方向性は

答 授業やオンライン学習における端末の有効的な活用について研修を重ね、学びの充実を図っていきたい。不登校を含めた在宅教育の取り組みについては、官民一体となり児童・生徒の居場所づくりの充実に取り組みしていきたい。また、学校の再開については、牧之原市では「学校再開プラン」を作っており、保護者にも示した中で対応してきている。



リモートでの学習風景

きむら まさとし
木村 正利

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



第2次総合計画において、「政策4 生活基盤の施策」として道路・河川の保全および整備が策定されている。また、都市計画マスタープランには、「富士山型ネットワーク構造」への転換を図ることが述べられている。道路・河川の整備等は、ライフライン、いわゆる電気、ガス、水道とともに重要な案件であり、まちづくりの基本でもある。防災・減災にも直結する施策であることから、以下について質問した。

問 道路・河川の整備は、まちづくりと防災および減災にも直結する重要案件だが、市長の考えは

答 道路や河川のインフラ整備は、まちの骨格を成すものであり、まちづくりに欠かすことのできない重要なものである。市民の視点による必要性評価と、行政の視点による実現性評価により路線を選定し、事業着手時期を短期・中期・長期と分けて整備計画を作成している。河川の整備については、市民生活の安心・安全の観点から、浸水常襲地域を最優先とし、整備を進めている。

問 2020年に道路整備プログラムが作成されているが、今後どのような整備を計画しているのか



静波地区道路新設工事

問 国道150号バイパスの細江から大沢インター間の着工見通しについては

答 3市1町で組織する「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」において、毎年、国土交通省および静岡県に要望活動を行っている。また、榛南、南遠地域の整備が進んでいない地区と県を交えた事務方の勉強会を令和4年3月末から立ち上げ、どういった効率よく整備が進むか等について取り組んでいく。

な な み か ず あ き
名波 和昌

質問の様子はこちら
—動画配信中!—



道路・河川の保全および整備は

答 従来からのコンパクトな都市である既存市街地を維持しながら、賑わいの創出や、市外などからの人口を呼び込む高台地区を結ぶまちづくりを目指している。今後も道路や河川などのインフラを維持管理していきながら、現在ある施設の長寿命化を図るとともに、防災機能の強化や、住宅施策の推進を図るため、市道大江東中線や、中央幹線、須々木大溝線の整備に取り組んでいく。



150号バイパス等の計画図

「学校再編に関する要望書」を提出しました

市では、2030年までに市立の小学校8校、中学校2校を、小中一貫校（義務教育学校）として榛原地域に1校、相良地域に1校の2校に再編する「学校再編計画」の策定を進めてきました。

市議会においても、これまで所管の文教厚生委員会や議員全員協議会において、当局から説明を受け、さまざまな議論を進めてきました。また、令和4年2月定例会には学校再編に関する予算が計上された「令和4年度牧之原市一般会計予算」が上程され、令和4年3月24日（最終日）に可決となりました。

翌25日には市教育委員会が開催され、学校再編計画についての議決が行われることとなっていたことから、定例会終了後、議会としての意見をまとめた要望書を市長および教育長へ提出しました。



「学校再編に関する要望書」(要旨)

学校再編は、望ましい教育のあり方を実現すると同時に少子化や公共施設の適正化など牧之原市にとって重要な課題解決のための施策である。一方、現在の学校がその地域において果たしている役割もまた大変重要であると考えます。

令和4年度以降、学校施設整備基本構想・基本計画において、具体的に新しい学校の位置や規模など、その中身について議論されていくことになるが、市民への丁寧な説明はもとより、議会との議論を深めていただき、市全体のまちづくりを念頭に、子どもたちの学びの場として、より良い教育環境の整備と牧之原市ならではの特徴ある学校となるよう計画策定を進めていただきたい。

また、今回の再編計画では対象としなかった、牧之原市菊川市学校組合についても、関係者との協議を継続的に実施していく必要があると考える。

今後も、新たな学校の計画と現在の学校施設の利活用による牧之原市のまちづくりのため、市民への情報提供と意見聴取を行い、市民や議会との議論を重ねていただくよう要望する。

※学校再編計画については、令和4年3月25日の市教育委員会にて、全会一致で可決されています。

議会を傍聴してみませんか

6月定例会の日程

- 6月1日（水）提案説明
- 10日（金）通告質疑
- 14日（火）一般質問
- 15日（水）※16日は一般質問者数が13人以上の場合
- 16日（木）
- 27日（月）審議・採決

※補正予算連合審査会 6月20日（月）

もっと市議会を知ろう！

傍聴する

市議会で行われている会議は全て公開です。



録画配信を見る

一般質問はいつでもご覧いただけます。



牧之原市 議会中継 クリック



ホームページで本会議や委員会の会議録を見ることができます。

今号の表紙

【坂部保育園 春、うれしいな】

坂口谷川の土手の桜が咲き始めたので、みんなでお花見に出かけました。4月からは年長さん。お兄さん、お姉さんになったよ。うれしいな！

編集後記

世情厳しい情勢の中、議員全員で市民の皆さまに寄り添い、皆さまが安心して暮らせるよう、議員・議会活動に努めていきます。

議会広報特別委員会も私を含め5人が新メンバーとなりました。今後も、見やすく、また興味を持っていただけの内容の掲載に心がけ、皆さまに愛される紙面となるよう、そして皆さまと議員との「かけはし」になるような編集に努めていきます。

議会広報特別委員会

委員長 原口 康之
副委員長 種茂 和男
委員 加藤 和彰
名波 和昌
絹村 智昭
石山 和生

牧之原市議会定例会（一般質問等）については、ホームページに掲載されています。
「牧之原市議会だより」は再生紙を使用しています。